

西谷の森公園 (第173回友の会)

日時 2019年10月13日

場所 宝塚「西谷の森公園」

天候 小雨→曇り→晴れ

参加者 27名(子供3人、スタッフ12名含む。)

前日、台風19号がきて、参加者が少なかった。ゆっくり見られると言う人と寂しいと言う人とさまざま。

ツクシハギの花が咲く道を歩き出す。コウヤボウキの白い花とオケラの花が並んで咲いていました。オケラ花の下に魚の骨状の苞が珍らしく、皆交代で写真を撮ったり、手で触ってみたりしました。

堤の土手にイヌホウズキの青い実、ワレモコウの赤褐色の花に秋がきたなあと思わせます。木の柵に鮮やかな橙黄色のきのこツノマタタケが一行に並んで可愛い。高さ5mmぐらいと小さく、きのことは思えません。

山道に入るとイナカギク、ツラヤマギクの白い花、ツルリンドウの蕾が隠れるように開花を待っていました。小さな小さなセンブリも花はもう少し先のようです。葉を少し噛んだら、苦い、ニガイ、にがい。

樹木では、ヒメヤツヤブツ、オオバヤツヤブツ、ハンノキ、サクラバハハンノキ、よく似た実や冬芽に「しっかり区別せよ」と言われているようで頭が混乱します。

ソヨゴの実はまだ青かったが、ミヤマガマズミ、ウメモドキ、アオハダの赤い実が私達の目を楽しませてくれました。

ヌルデの実があつたので、手で触ってその手を舐めてみました。塩っ辛い味でした。塩が容易に使えなかった



出発です!!



どんぐり見つけたよ!

時代や地方では調味料として使われていたそうです。

始めて見た「ヨコグラノキ」はイソノキによく似た葉の形でした。

昼食後、恒例の店開き。梅田さんが参加の人に栗のイガの絵を描いてもらいました。よく知っているつもりでも、どのように生えているのか細節までは見えないものだと反省させられました。

清水さんが漢方の話。葛が葛根湯の主成分として鎮痛、解熱に。センブリは昔、蚤や虱の駆除剤、今は健胃剤。ドクダミは十薬とも言い、さまざまの薬効がある。オケラは健胃剤として使われる。京都八坂神社では大晦日の夜オケラの火をもうい火縄の先に点けて家へ持ち帰り新年の火種に一年の無病息災を願った。

高本さんが虫こぶの話。枝葉や実につくノブドウフクレフツ、ヌルデミミフツ、ナラメイガフツ、クヌギエダイガフツ、クヌギハヒメフツ、クヌギハマルタマフツ、クヌギハケタマフツ、クヌギハケツボフツ。箇々の説明がありました。

なお台風19号は東日本各地に甚大な被害をもたらし自然の恐ろしさを鬼せつけられました。当事者の心情を察するに言葉がみつかりません。(近藤)



何の木？



虫こぶの観察ができました



ツクシハギ



コウヤボウキ



オケラ



オケラ



ツノマタタケ



ルリタテハの幼虫???

友の会 西谷の森自然観察会 参加者の声

僕は今回の自然観察会でおもしろいことをたくさん学びました。特に印象に残っているのはマツが樹齢何年かを調べる方法です。この数え方はシンプルだけど、正確で、なぜこの方法で調べられるのかとても興味を持ちました。また、レッドリストにも載っているオケラやセンブリという珍しい植物を生で見ることが出来ました。さらに清水さんの説明では、オケラが漢方で生薬として利用されていることやセンブリは千回煮ても苦いということから名前が由来していることなどためになることばかりでした。また、途中で見かけたリンドウやコウヤボウキも綺麗な花を咲かせていて見とれてしまうほどでした。そして、帰路ではヤマボウシの木が在って実もなっていたので食べることが出来ました。とても甘くて舌がとろけそうなほどでした。今回の観察会は、五感で自然を感じる事ができた観察会でした。

【けんしん】